

科目名 診療の補助技術 II	配当時期 2年次 10月	講義担当者 佐々木 主一 (実務経験のある教員)
時間割表記名 診療の補助技術 II	単位数 1単位	
	時間数 15 時間(8 回)	

#### 事前学習内容

演習前には技術の動画を視聴する。テキストと動画を活用しながら、技術の根拠を含めた手順をレポートにまとめる。

#### 授業目標

- 検査における看護の役割を理解し、実施する基本的な援助技術を実践できる。

#### DPとの関連

DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。

DP5. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。

#### 授業の流れ

回	学習内容	方法	備考
1	検査を受ける患者の看護	講義	テキスト①②③
2	1)検査の目的と種類(検体検査、生体検査) 2)検査を受ける対象の心理 3)検査における看護師の役割 検体検査時の援助 1)尿検査の介助と実際 2)便検査時の介助 3)血液検査の介助と実際	講義	資料 * 2 回目 45 分
3	生体検査時の援助 1)X 線、CT、MRI 2) 内視鏡検査(気管支鏡検査、上下部消化管検査)胃透視 3)超音波検査 4)心電図検査 5)肺機能検査	講義 グループ学習	テキスト①②③ 資料
4	静脈血採血の実際	演習(技術)	テキスト①②③
5	1)採血に必要な物品の取り扱い 2)駆血帯の取り扱い 3)採血管・採血針の取り扱い 4)採血の方法 【シミュレーターを使用しての採血】	グループ学習	資料
6	検査・注射の実際 【血糖測定・インスリン注射】	演習(技術)	テキスト①②③ 資料
7	技術試験(採血)	試験(技術)	
8	筆記試験	試験(筆記)	

#### 受講上の注意

○看護機能形態学や基礎看護技術論、日常生活援助技術Ⅲ、診療の補助技術 I

評価方法

技術試験

<p>臨床薬理学の学習を活用しながら学ぶため、復習をしておく。</p> <p>○各自、技術が習得できるよう練習を行う。ただし、針を使用するときは、教員の見守りの下、練習を行う。</p>	筆記試験 レポート
<p>使用するテキスト</p> <p>①系統看護学講座 専門分野 基礎看護技術Ⅱ 医学書院</p> <p>②系統看護学講座 専門分野 臨床看護学総論</p> <p>③看護技術プラクティス 学研</p> <p>参考文献</p> <p>①オールカラー・ビジュアル 基礎看護技術ガイド 照林社</p> <p>②根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院</p>	